

イギリス土木学会 (ICE) 図書館におけるバーチャル・ライブラリの状況

日本大学生産工学部 フェロー会員 五十畑 弘

1. はじめに

イギリス土木学会(以下 ICE: Institution of Civil Engineers, 1818 年設立)は、会員数 82,400 人(内海外会員 21%, 2013 現在), 国内外に 167 の支部を擁する世界最大の土木技術者協会である。本稿では、ICE が土木工学に関する資料の収集・保存, 利活用のための情報環境をどのように整備しているかについて、ICE 図書館のバーチャル・ライブラリ機能の状況から報告をする。

2. ICE 図書館のサービス

ICE 図書館は 1600 年代から現在までの図書, 文献を収蔵し, 蔵書内容には, ICE およびトーマス・テल्フォード社(ICE 傘下の出版社)が発行する図書, 雑誌, ICE が開催するすべての研究発表会, シンポジウム等の論文集, 資料, ガイドなどの他 900 を超える国際ジャーナルをカバーする。この他, 土木実務に関わる資料も収蔵し, 関連法令, ハンドブック, イギリスの基準およびユーロコードも保有する。

図書館のサービス活動は, 土木工学関連の文献資料の電子データ提供, 調査, 問い合わせへの回答, 文献・画像資料の調査, ICE コレクションを使った特定トピックの調査, 図書の貸出(通常 3 週間), 文献・資料の提供, 他の図書館への図書, 資料の貸し出し, 文献・資料のコピー, スキャンデータの提供, ICE 出版物の案内などがある。この他, 映像, プリント画像, 図面, 写真などの資料の提供 も行っており, DVD, ビデオ, 35mm スライドの貸し出し, 閲覧サービスをしている。ICE のバーチャル・ライブラリからダウンロードされた PDF は年間 68 万件, アクセスのあった国は 100 か国にのぼる(2013 年実績)。

蔵書の中で特に歴史的価値のある文献資料や稀覯本, 図面, 地図, 絵画などで損傷が進行している貴重文書についてはその修復, 保存を会員からの寄付によって進めている。

3. バーチャル・ライブラリ機能

1) 提供資料

バーチャル・ライブラリは, 過去 200 年を超える ICE の活動によって集積された知識とともに, 今日進行中の最新の土木技術に関する情報を提供の範囲としている。非会員も含めて, トーマス・テल्フォード社が発行した図書, 雑誌とともに, 1836 年までさかのぼった ICE 発行のすべての文献・資料の閲覧ができる。

利用するには, ICE フロントページの「情報ソース」の項目より, ICE バーチャル・ライブラリに入る。バーチャル・ライブラリでは, 「ジャーナル(e-journal)」, 「図書(e-book)」の他アルファベット順で検索するか, 建設材料, 橋などの技術の分野や, コレクションから情報にアクセスする。



図 1 ICE 本部(左) 2階の図書館内部(中央), 地階のアーカイブ資料庫(右)

キーワード: 土木情報, アーカイブ, ICE, 図書館,

連絡先 〒275-8575 千葉県習志野市泉町 1-2-1 日本大学生産工学部環境安全工学科 TEL:047-474-2454

e-mail: isohata.hiroshi@nihon-u.ac.jp

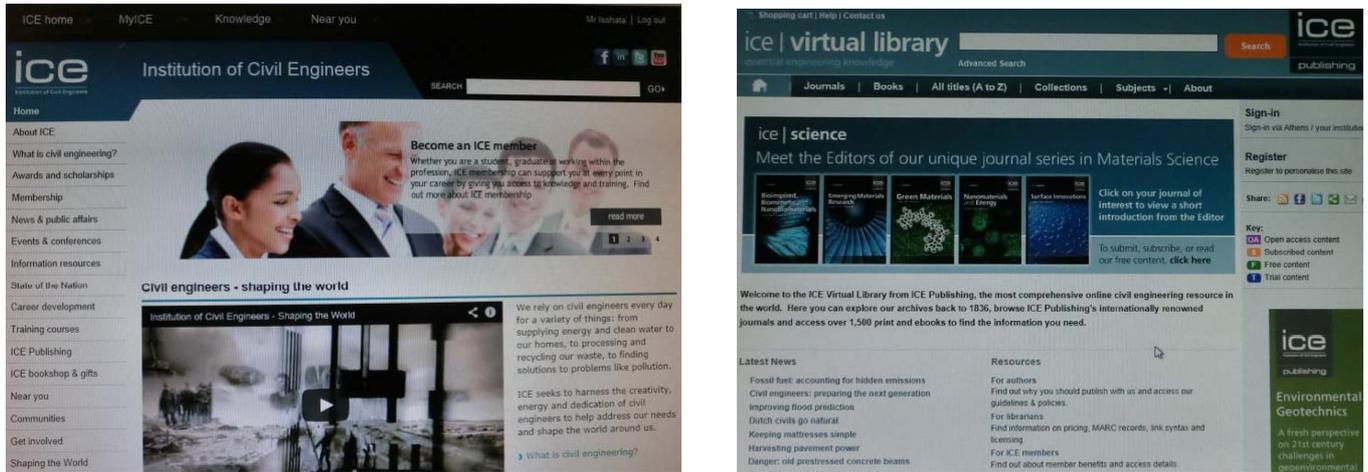


図2 ICE ホームページ，フロントページ（左）とバーチャル・ライブラリ

2) その他のダウンロード可能な情報

その他のダウンロード可能な情報としては、会員技術者の日常業務で必要とする実務的な土木技術に関する200件のQ&Aや、土木実務技術ノート、約3万項目の土木に関わる頻度の高いあらゆるレベルのQ&A（「Ask Brunel！」）、専門外の分野の自己学習マニュアルなどがある。歴史的土木構造物については、工学分野での遺産に関する理解を土木技術者や広く一般に対して普及させるために全土の土木遺産の保全状況などの情報提供をしている。また、毎月3名程度の歴史的土木技術者を特集して1次情報を含む写真、文献などの関連情報を提供している。ICE図書館の変遷、図書館ニュース、図書館サービス、貸出、オンラインサービス、図書館ガイドなども提供情報に含まれる。

さらに、インフラ整備に関するICEの方針や関連報告書については、ICEの役割のひとつが土木技術、環境に関わる問題について政策立案者に対して専門家としての提言をすることから、ICEが過去に政府、国会へ提出した提言、報告書等はすべて無料でダウンロードできる。その一つに「国の状況」（State of the Nation）がある(<http://www.ice.org.uk/State-of-the-Nation>)。政府がイギリスのインフラの状況を改善できるように、提言をする立場からインフラ整備のための議論を活発化させる狙いで定期的に提供しているICEの旗艦レポートである。

4. 資料提供サービス

会員および一般向けに郵送によるコピーやeメールによるPDFの提供を実施しており、原則として会員を含めて一般の利用は有償で提供されている。商業目的の場合は追加費用が加算される。ICE論文集、ICEバーチャルジャーナル（全15冊の論文集分冊）は、購読料を年間で納入することでダウンロードできる。過去3か年の受賞論文、1836年～1900年発行の全論文は無償で公開されている。

5. ICEの情報提供の方針

バーチャル・ライブラリを含むICEの情報提供の考え方は2007年に設定された「知識伝達のための戦略(ICE Learned Society)」の活動方針に基づいている。ICEは会員のみならず、産業界、社会に対しても利益をもたらすために、土木の専門家としての知識の伝達をICEの活動の中心に据えるとしている。適切な知識を必要とする人にタイムリーに伝達することを狙い、次の5点に焦点を置いている。すなわち、①External knowledge(政府、メディアなどの協会外に対する容易なアクセスによる知識提供)、②Best Practice(ガイド、規準など実務に有用な知識提供)、③Research & Innovation(技術革新持続のための知識提供)、④Building Capacity(継続教育、スキルアップのための知識提供)、⑤Events(会議、講演などによる知識提供)、である。

参考文献

- 1) ICE ホームページ：<http://www.ice.org.uk/>
- 2) ICE Learned Society, Institution of Civil Engineers, 2007